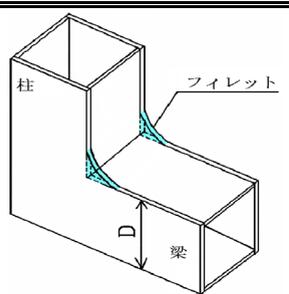
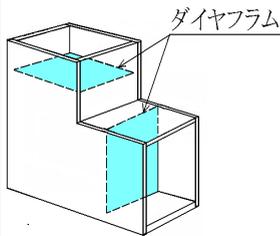
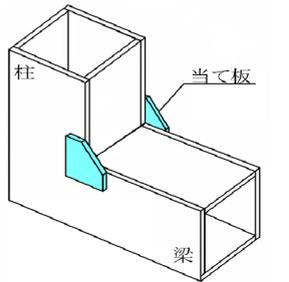
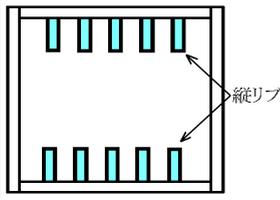
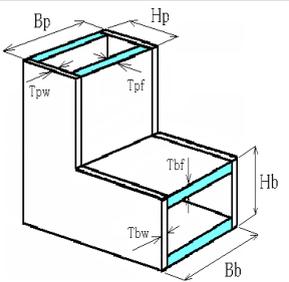


4.2 検討ケース

鋼製橋脚隅角部の疲労耐久性の検討において、応力性状の改善などの目的から設計段階から考慮されることが想定される代表的な構造的要因としては、表-4.2.1 に示す項目が挙げられる。ここでは、これらの構造的要因の採否やその詳細を設計段階から一定せん断流パネル解析を用いて検討する方法について、適用性の検討を行うとともに各要因の効果について検証を行う。

表-4.2.1 隅角部の応力性状に影響を及ぼす構造

構造例	構造詳細	概要図	構造例	構造詳細	概要図
フィレット	フィレットの寸法と形状が応力集中の低減効果に与える影響について研究が報告されている。		ダイヤフラム	隅角部近傍にダイヤフラム追加	
当て板	首都高速道路の橋脚補強として、応力集中の低減の有効性が確認されている。		縦リブ	隅角部付近の梁に縦リブ追加	
断面構成	はり、柱の板厚・はり高などの断面構成		マンホール	はり、柱フランジ隅角部に設置されてあるマンホールの位置変更	